

事業所名	はぴりデイサービスセンター		
事業所番号	2172700474		
規模	大規模型 I		
定員	1日の部	40名	
	半日の部	20名	
サービス提供時間	1日の部	長時間コース	8:50~16:30
		短時間コース	9:30~15:00
	半日の部	午前の部	8:50~12:00
		午後の部	13:20~16:30
住所	〒506-0824 高山市片野町2-296		
電話	0577-36-6065		
FAX	0577-36-6064		
ホームページ	<a href="https://sancarehappily.com/">https://sancarehappily.com/</a>		

## はぴりデイサービスセンターのご案内 (居宅介護支援事業所向け)



施設空き情報は  
こちら 



施設HP  
はこちら 



# はぴり 8つの特徴



実際の訓練風景を動画でご覧ください！

## 特徴①

### 機能訓練・個別機能訓練

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が機能向上のためのプログラムを立案

#### 療法士による個別機能訓練

利用者様一人ひとりの身体機能、動作能力、生活環境を丁寧に評価した上で目標を設定し「生活動作の再獲得」「**住み慣れた自宅での継続した生活**」を目的としたプログラムを立案しています。立ち上がり・歩行・階段昇降などの基本動作はもちろん、調理・洗濯・買い物などの実生活動作(ADL・IADL)訓練にも重点を置いています。また、**ご自宅での訪問評価を実施し**、住環境の確認や福祉用具の提案を通じて、在宅生活とデイでの訓練を一体化した実践的な支援を行っています。



#### マシン訓練

パワーリハビリテーションの考え方を取り入れたマシン訓練を導入し**“動かす喜び”**や**“できる感覚”**を引き出すことで、身体機能の維持・向上だけでなく、意欲の再生を目指しています。障害の有無、身体状況に合わせたマシンを専門の職員が安心・安全に行えるようサポートしています。



#### 集団体操

そしてもう一つの特徴が、職員の個性が光る集団体操です。レクリエーション要素を取り入れ、ただ体を動かすだけでなく、**笑顔・交流・達成感が生まれるプログラム**を展開。参加者同士の声かけや笑いがある時間は、身体だけでなく心の活性化にもつながります。「その方の生活に意味のある動作・活動」を取り戻すことを目標に多職種が連携し、心と身体の両面からサポートしています。



## 特徴⑧

### 送迎

多彩な種類の車両を取りそろえ、安心安全の送迎を提供します

計7台の車両で利用者様に負担をかけない様できる限り乗車時間が短くなるよう努めています。リフト車やスロープ車で車椅子のまま乗車いただけます。

講習を受講した安全運転管理者による職員の運転チェックを定期的実施し安全運転に努めています。



### よくあるご質問について

Q.一日コースで入浴はありますか？

A.入浴は半日コース(午前・午後)のみの提供となります

Q.機械浴はありますか？

A.機械浴は導入していないため、自力歩行または軽介助による移動が可能な利用者様が対象となります

Q.〇〇地区は送迎対応していますか？

A.原則は旧高山市地域内としていますが、各地域送迎実績あります。個別にお問い合わせください

Q.無料体験は行っていますか？

A.はい、利用前には体験の利用をお勧めしています。費用は原則無料ですが、1日コースの体験を希望の際は、昼食代700円を実費としております。また、入浴のサービスを希望の方は、利用開始前に身体状況や医療的リスクなどを確認し、準備する必要があるため、**体験時の入浴はおこなっておりません。**

# はぴり 8つの特徴

## 特徴③

**入浴** ※半日コースのみのご提供  
利用者様のニーズに合わせて2種類のタイプの浴槽をご用意しています

はぴりデイサービスセンターの浴室は目的に合わせて2種類の浴室環境を提供しています。

## 大浴

広く開放的でリラックスできる、まるで銭湯の様な空間となっています。脱衣スペースもゆったりとした設計で、着脱動作を安心して行える環境を整えています。浴槽までは両側に手すり付きの階段を設け、安心して出入りが可能。浴槽内には段差を設けて座位の深さを調整できるため、心臓への負担を軽減しながら、身体への無理のない入浴を実現しています。



## 個浴

個浴は一般家庭の浴槽に近い環境を再現しており、退院直後などで「自宅での入浴に不安がある方」や、「自立を目指して入浴動作を練習したい方」に最適です。私たちは、入浴を単なる清潔保持ではなく、生活動作訓練(ADL)の一部として位置づけています。必要に応じて専門職が入浴動作を丁寧に評価し、介護職員と連携し、利用者様のできる能力を生かし、自立に向けた支援を行っています。



## 特徴④

**自立支援を実現する多彩なプログラム**  
自分で選べる、だから意欲が生まれる

はぴりデイサービスセンターでは、利用者さまが「これをやってみたい！」と感じた活動を自分で選べる環境を大切にしています。私たちは、誰もが同じ内容をこなす画一的なプログラムではなく、その方の興味・体力・生活背景に合わせた多彩で魅力的な活動を数多くご用意しています。「選ぶ」という行為そのものが、「自分で決める力=自立」を育み、同時に意欲や笑顔を引き出す大切なきっかけになると考えています。その日の気分や体調に合わせて、「今日は訓練を頑張りたい」「今日は創作で手を動かしたい」—そんな“自分で決める一日”を通して、利用者様が自分らしく輝ける時間を提供しています。



これらの活動、すべて同一時間帯です！

## 特徴⑤

**食事**  
美味しい食事で、心と体を元気に

一日コースご利用の際には、管理栄養の考え方を取り入れた、栄養バランスの整った昼食を提供しています。「食べること」は、生きる力そのもの。美味しく食べることで心も体も元気になり、午後の活動への意欲につながります。

お食事は、塩分やエネルギー量にも配慮しながら、旬の食材を使った家庭的なメニューをご用意。嚥下機能や咀嚼力に応じて、きざみ食・ソフト食・とろみ対応食なども柔軟に対応しています。



専属スタッフが毎日仕込むお味噌汁は、“はぴりの味”として利用者さまから大好評。

香りと温かさが食欲をそそり、自然と会話も弾みます。食べることを通して、健康を支える・楽しみをつくる・人とつながる。それが、はぴりデイサービスセンターの「美味しい食事」です。

## 特徴⑥

**看護師による健康サポート**  
看護常駐で安心安全の利用・生活をサポートします

はぴりデイサービスセンターでは、常勤非常勤合わせて計3名の看護師が在籍し、日々の健康状態を継続的に見守りながら、利用者さま一人ひとりの安心と安全を支えています。

バイタルチェックや服薬管理にとどまらず、体調変化の早期発見・疾病予防・生活習慣のサポートにも力を入れています。血圧や体温の変化、食事・水分・睡眠・排泄といった生活リズムを丁寧に確認し、随時訓練士・介護職と情報を共有。身体状況に合わせた運動プランや活動調整を行うことで、無理のない利用を実現しています。また、医療機関やご家族との連携を密にし、「健康状態の見守り」から「健康づくりの支援」へとつなげています。

ちょっとした不調や不安もすぐに相談できる、かかりつけのような安心感を目指しています。単なる体調管理ではなく、その人の生活をまるごと支える健康サポートを行っています。



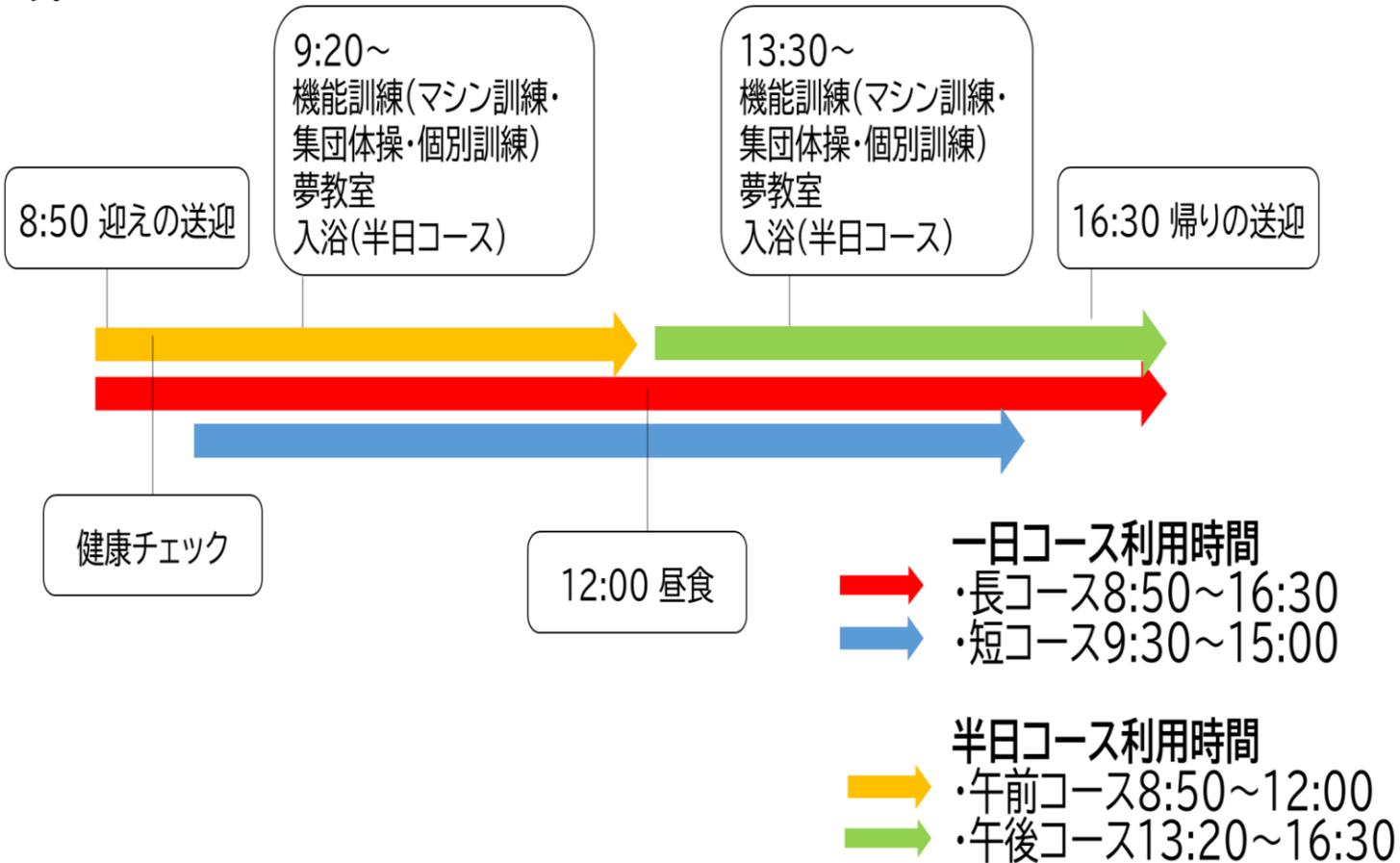
# はぴり 8つの特徴

## 特徴⑦

### 多様な時間帯・コース

多様なご利用時間帯・コースのためのプログラムを立案

はぴりデイサービスセンターでは、利用者様やご家族の生活リズムや希望に合わせて、午前・午後・一日利用の3つのコースをお選びいただけます。さらに一日コースは9時30分から15時の提供時間と8時50分から16時30分の提供時間の2コースがあり、さらにきめ細やかな支援が実現できます。



午前コースでは「朝のリズムを大事に、午前中にしっかり活動し、午後は自宅ゆったりすごしたい」方に、午後コースでは「朝が早いのは苦手。お昼ごろから調子が出てくる」方に、一日コースでは「機能訓練、夢教室、食事・・・どれも外せない！」という方に。これらは一例ですが、多様な時間でお選びいただけるので、利用者様の生活課題・背景に合わせたケアプランニングに寄与することができます。複数のコースを併用されている方も多く、1日コースと半日コースの組み合わせでは、「お風呂は疲れるから、半日コースで。1日コースでは時間を気にせず自分のペースで運動・夢教室を楽しみたい」など一人ひとりの目的や体力に合わせたオーダーメイドの利用スタイルを実現します。

※お風呂の提供は半日コース利用曜日のみとなります。

実際の活動風景を動画でご覧ください！



## 特徴② 夢教室

利用者様一人一人の「もう一度やりたい」「やってみたい」を全力で応援します

はぴりデイサービスセンターでは、心身の機能訓練だけでなく、「その人らしい生き方の再構築」を目的とした取り組みとして、夢教室という取り組みを実施しています。利用者様一人ひとりの「やってみたい」「もう一度挑戦したい」という想いを丁寧に聴き取り、実現する場所です。



活動内容は、パン作り・クラフトバンド・料理教室などの創作活動に加え、カラオケやコーラス、生涯学習、地域交流など多岐にわたります。

夢教室は単なる趣味活動ではなく、ケアプランにおける「本人の目標達成」に直結する支援として位置づけています。「立位での作業を継続したい」「調理動作を再獲得したい」といった目標を、夢教室の活動を通して実現します。



さらに、活動で得た意欲や自信を在宅生活へとつなげるとともに、夢教室でつくったパンを家族と共に味わったり、創作物を地域の文化展などへの出品する活動等を通して社会参加の機会を広げることにも力を入れています。

「生きがい」そのものを訓練の一部として捉え、心と身体、そして社会とのつながりを取り戻す、それが夢教室の目的です。